

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた運営方針

- ◎警戒レベルにかかわらず、感染防止対策を徹底する。
 - ①基本的な感染防止対策（マスクの着用、手指消毒、3密回避等）を徹底すること
 - ②可能な限り、不織布のマスクを着用すること
 - ③屋内で食事をする際は、会話を慎み黙食に徹すること
- ◎警戒レベルは、「警戒レベルの判断基準」を基準として危機管理委員会が決定する。

危機管理委員会

警戒レベルの判断基準	授業・ガイダンス	学内での学習活動	就職指導・支援体制	図書館利用	課外活動（クラブ・サークル）	学生・教職員の県外移動制限	教職員の勤務体制
< 要 警 戒 > 新型コロナウイルス感染拡大防止にかかる富山県対策指針が ステージ 1 の基準を満たしているとき。	対面授業とする。新型コロナウイルス感染防止のために特に配慮を必要とする学生には遠隔での受講を認める。	学習活動を可とする。	就職指導・支援、就活関連イベントを学内で実施する。	通常どおりの利用を可とする。ただし、入館人数を制限することがある。	学外活動を行う場合には、予め学生課に届け出るものとする。	○注※2、注※3を除き、特に制限は設けない。	通常どおりの勤務とする。なお、毎朝の検温、チェックシートへの記録を行うものとする。
< 高度要警戒 > 新型コロナウイルス感染拡大防止にかかる富山県対策指針が ステージ 2 の基準を満たしているとき。	原則として対面授業とする。新型コロナウイルス感染防止のために特に配慮を必要とする学生には遠隔受講を認める。授業担当教員に健康上の理由その他正当な理由があるときは遠隔授業を認める。	学習活動を可とする。	就職指導・支援を可とする。授業・就職ガイダンス以外の就職指導のためのイベントを実施する場合は、危機管理委員会の許可を得るものとする。	図書館を利用する場合は、氏名・利用時間を事前又は事後に図書館事務係に届け出るものとする。なお、入館人数を制限することがある。	課外活動を行う場合は、学内外を問わず、予め危機管理委員会に届け出るものとする。県外の活動は危機管理委員会の許可を得るものとする。	○注※2、注※3を除き、特に制限は設けない。	〈要警戒〉と同じであるが、健康上の理由により感染防止のために必要がある場合は、在宅ワークを認める。
< 緊急事態 > 富山県対策指針が ステージ 3 の基準を満たしているとき、 富山県が政府の緊急事態宣言対象区域とされた場合 、又は学生若しくは教職員が感染し、大学で感染が拡大する恐れのある場合。	遠隔授業とする。ただし、特別の必要がある場合は、危機管理委員会の許可を得て授業を実施することができる。	不可とする。ただし、遠隔授業のための WiFi 利用等特別の必要がある場合は、危機管理委員会の許可を得て入構することができる。	遠隔での対応とする。ただし、特別の必要がある場合は、危機管理委員会の許可を得て入構することができる。	館内利用は不可とする。ただし、特別の必要がある場合は、危機管理委員会の許可を得て利用することができる。	活動停止とする。ただし、公式戦等特別の理由がある場合は、危機管理委員会の許可を得て、出場及びその準備・練習をすることができる。	○県外への移動は自粛する。県外に移動する場合は、危機管理委員会に届け出るものとする（隣県からの通勤者を除く）。 ○注※2、注※3が適用される。	[教員]業務上必要のある場合を除き、原則として在宅ワークとする（「1週4日以上の出勤」を求めない）。 [職員]原則、在宅ワークとし、事務局は電話対応のみとする。 キャンパス内の感染等で消毒等を行う期間は、一斉休業とする。

注

- ※1 < 緊急事態 >にあつては、学生及び来訪者の入構は危機管理委員会の許可を得た者に限る。
- ※2 本学教職員及び学生が政府の「緊急事態宣言対象地域」に移動する場合は、危機管理委員会に事前に届け出るものとする。また、当該区域を出発してから5日間（出発日起算）を待機期間として、この間の大学構内及び寮への立入りは、危機管理委員会の許可がない限り禁止する。来訪者(本学非常勤を含む)についても同様の対応をするものとし、玄関及び受付窓口から先の構内立入は危機管理委員会の許可を必要とする。なお、2回のワクチン接種を終え、健康上の問題が生じていない者又は入構前一週間以内にPCR検査で陰性と判断された者については、危機管理委員会は原則として入構（入寮）を許可するものとする。
- ※3 学生又は教職員が「まん延防止等重点措置地域」に移動する場合は危機管理委員会に事前に届出るものとし、当該区域を出発して5日間（出発日起算）は不要不急の外出を自粛するものとする。来訪者(本学非常勤を含む)が「まん延防止等重点措置地域」を出発してから5日以内の場合、健康状態によっては入構を控えていただくことがある。